

星槎国際高等学校 公開授業実施報告

5月27日（金）札幌サンプラザホールにて星槎国際高等学校 札幌・当別学習センター公開授業「今、私たちにできること～東日本大震災 被災地の仲間たちへ～」を実施。301名の参加していただき、無事に終えた。

第1部「現地のようすと復興に向けて」

仙台学習センターセンター長の塩谷 貴男氏・NPO 被災者支援ネット事務局長 井上 秀美氏講師 2名から仙台市での被災体験、北海道と震災との関わりが語られた。被災地での実体験から、命の大切さと、震災という困難を乗り越えるために人と人との関わり合いがいかに大きな力になったかということを学んだ。北海道と震災との関わりについては、被災地から多くの避難者が北海道に来ているという現実を知り、「被災地へ行く」「何か特別なことをする」ことだけが支援なのではなく、人とのつながりを大切に、「日常」「当たり前前のこと」の中に支援策があり、北海道にいながらでもできることがあり、いまの私たちにできることがあるのだということ改めて学んだ。



第2部「YOSAKOI オン ステージ」

北海道工業大学～HIT～と酪農学園大学による、よさこいソーランの演舞。各チーム1曲ずつの演舞の後、2チーム合同で踊る「よっちょれ」では、客席も巻き込んだ学生たちのパワフルな演舞に会場が盛り上がり、仲間と心を合わせることで生み出される大きな力を感じることができた。



第3部「Earth」

パクスミュージックスクールによるダンスと歌によるパフォーマンス。被災地へ笑顔とエールを送りたいという思いが表現された若さあふれる元気なダンスが披露された後、被災地へ思いを寄せ、皆がひとつになってこの困難を乗り越えることを誓おうという思いが歌に託され、来場者と一体となったステージであった。

歌とダンスを披露して下さり、会場を最高の笑顔と元気にしてくれました。最後には、今回のテーマソングでもある「EARTH」を披露。



エンディングでは本校の道内4校舎の生徒から寄せられた被災地の仲間へ向けたメッセージDVDが上映された。

ステージ外では義援金の募金活動のほか、売上金の一部を被災地へ義援金として送るために5団体の協力により物品販売も行った。



この度、公開授業の趣旨に賛同いただいた協賛団体をご紹介します。

- ・株式会社 JTB北海道
- ・カラーワークス札幌
- ・星槎国際高等学校父母会「一星輝」
- ・北海道ペプシコーラ販売株式会社
- ・北海道旅行センター株式会社

また、物品販売にご協力いただいた福祉団体をご紹介します。

- ・社会福祉法人あむ 生活介護授業びーと
- ・NPO 法人TAK の会 TAK
- ・北海道社会福祉協議会 障がい者就労支援センター
- ・社会福祉法人愛敬園 北愛館